

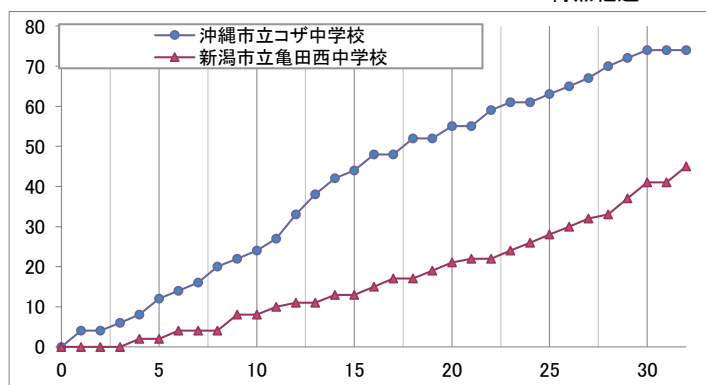


2017 ALL JAPAN JUNIOR HIGH SCHOOL SPORTS FESTIVAL

第47回全国中学校バスケットボール大会

大会名	平成29年度 全国中学校体育大会 第47回 全国中学校バスケットボール大会																
会場	沖縄県立武道館																
日時	2017年8月24日(木)	12:10															
コート	BBコート 第3試合																
カテゴリ	男子決勝トーナメント1回戦																
主審	森田 将史	(長崎)															
副審	草野 伸明	(東京)															
TEAM A	TEAM B																
コザ (沖縄県)	74 ○	45 ● 亀田西 (新潟県)															
	<table border="1"> <tr><td>20</td><td>1st</td><td>4</td></tr> <tr><td>28</td><td>2nd</td><td>11</td></tr> <tr><td>13</td><td>3rd</td><td>11</td></tr> <tr><td>13</td><td>4th</td><td>19</td></tr> <tr><td>-</td><td></td><td></td></tr> </table>	20	1st	4	28	2nd	11	13	3rd	11	13	4th	19	-			
20	1st	4															
28	2nd	11															
13	3rd	11															
13	4th	19															
-																	

得点経過



BOXスコア

TEAM A		沖縄市立コザ中学校						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	F	
4	知念 拓己 (CAP)	×	0	0	0	0	3	
5	真喜志 良騎	/	6	0	3	0	0	
6	名嘉真 海斗	/	0	0	0	0	0	
7	稲福 克希	DNF	0	0	0	0	0	
8	山村 大樹	/	0	0	0	0	0	
9	屋宜 宣輝	×	5	0	2	1	0	
10	徳村 心樹	/	0	0	0	0	0	
11	當山 修梧	×	16	0	8	0	0	
12	ハーバー・ジャン	×	17	0	8	1	2	
13	砂川 琉勇	×	26	1	11	1	2	
14	玉城 有樹人	/	0	0	0	0	0	
15	宮城 海	/	4	0	2	0	0	
16	伊波 琉輝人	DNF	0	0	0	0	0	
17	照屋 光輝	/	0	0	0	0	0	
18	仲真 良騎	DNF	0	0	0	0	0	
コーチ	松島 良和							
合計			74	1	34	3	7	

TEAM B		新潟市立亀田西中学校						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	F	
4	佐藤 要 (CAP)	×	6	0	2	2	2	
5	山際 爽吾	×	12	0	6	0	2	
6	佐藤 孝樹	×	19	0	9	1	0	
7	小嶋 渉太	×	0	0	0	0	1	
8	佐藤 渉瑛	/	0	0	0	0	1	
9	大武 幸広	/	0	0	0	0	2	
10	熊倉 颯汰	/	2	0	1	0	0	
11	齋藤 洸介	/	0	0	0	0	0	
12	横山 拓海	/	0	0	0	0	0	
13	柴野 玲来	DNF	0	0	0	0	0	
14	宮川 大和	×	6	0	3	0	1	
15	熊倉 脩	DNF	0	0	0	0	0	
16	長島 洋佑	DNF	0	0	0	0	0	
17	塚野 稜生	DNF	0	0	0	0	0	
18	長谷川 颯	DNF	0	0	0	0	0	
コーチ	佐藤 善也							
合計			45	0	21	3	9	

×…スターター /…出場 DNF…未出場 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル

戦評

開催地代表のコザ(沖縄)と、北信越代表亀田西(新潟)の決勝トーナメント1回戦。1Q、スタートから完全にコザのペース。#11のミドルで先制。#13、さらに#5がバスケットからレイアップに持ち込む。亀田西はセンター#14がリング下を押し込み初得点。コザは#11の多彩な技で会場を魅了する。#12はブロックショットやタップシュートで観客を唸らせる。1Q終了間際、コザの連続速攻が決まる。コザ20-4亀田西で1Q終了。2Q、亀田西が先制、#6がゴール下で踏ん張り連続得点。コザ、タイムアウトをとり、仕切り直しを図る。亀田西はセンターを一枚にし機動力を優先させてきた。しかし、コザは#13のやわらかいタッチのシュートが次々と決まる。#11がタップシュート、レイアップと得点を重ねる。#13がミドル、3P、タップシュート、ゴール下と4連続で得点を積み上げる。亀田西は#5のドライブで得点。コザ#12がスティールからのレイアップを2連続決める。#13のミドルシュートも決まりコザ48-15亀田西で2Q終了。3Q、亀田西は3Pを積極的に狙うがなかなか入らない。#5が個人技で連続得点をあげる。コザは、速攻が連続で決まる。#9、#12、#11が走り、得点を積み重ねる。亀田西センター#14のミドル、#6がゴール下で踏ん張り得点する。コザ61-26で3Q終了。4Qコザは24秒バイオレーションを奪うなど厳しいDefをゆるめない。主力選手をベンチに下げる。亀田西はインサイドの#6にボールが入りゴール下を次々と決めだした。コザの#15の連続得点で応援団もヒートアップした。コザ74-43亀田西で試合終了。カバーリングが徹底されたDefと全員がボールに絡んでくるコザの持ち味が最大限発揮されたゲームだった。地本大応援団も満足するナイスゲーム。コザ、準々決勝進出。